

地域公共交通の現状について

現状

御殿場市の地域公共交通は、鉄道、路線バス（高速バス）、タクシーによって構成されており、市では地域の公共交通を各交通モードが相互に補完し合い、利便性の高い持続可能な公共交通を目指すため、方針、施策を示した「御殿場市地域公共交通計画」を令和3年3月に策定しました。

公共交通

①鉄道

- ・ J R 東海（御殿場駅、南御殿場駅、富士岡駅）
- ・ 小田急電鉄（特急ふじさん号）

神奈川県国府津駅と静岡県沼津駅間を結ぶ J R 御殿場線は、通勤通学や観光客を中心に市内の駅（御殿場駅・南御殿場駅・富士岡駅）を1日平均約1万人以上の方が利用されている。また、御殿場～新宿間を結ぶ特急ふじさん号が運行している。

主な施策：御殿場線利活用推進協議会（御殿場線沿線10市町加盟）において、鉄道事業者との協議会を行い、利便性向上のに向けた検討

②路線バス（高速バス）主なバスのみ

- ・ 富士急モビリティ 御殿場駅を中心に放射線状に18路線運行
- ・ 箱根登山バス 主に御殿場駅やアウトレットから箱根方面に3路線運行
- ・ 富士急バス 山梨県河口湖方面に1路線運行
- ・ 小田急箱根高速バス 新宿や羽田空港方面に運行

御殿場駅を起点として、概ね市内の拠点間を効率よく一度に多くの方を運ぶことができ、年間約60万人の方が利用されている。また、東京方面にも御殿場駅から高速バスが運行しており、関東圏へのアクセスにも利用が多い。

主な施策：利用促進運動の実施（イベントや関係各所へのお願いなど）

収支の悪化している路線への補助

移動手段のない高齢者への利用助成券の配布

③タクシー

御殿場タクシー・光タクシー・こだまタクシー・富士急静岡タクシー

路線バスでは補完できない場所への移動だけではなく、急病の方への対応など様々な用途で利用されている。

主な施策：移動手段のない高齢者への利用助成券の配布

その他（自家用車など）

現在、移動手段として多くの方が自家用車を利用。ただし、高齢化社会の進展に伴い、高齢者による交通事故も顕在化していることから、路線バスなど公共交通の維持は必要不可欠となる。また、一部路線バスが運行していない地域では地域のボランティアが移動手段のない高齢者の外出支援を行う福祉サービスも実施されている。